

column

「仕事は、人生つくる。」

もっと正確に言えば、「どんな風に働くか」が人生をつくる。

私は二十五年以上、働く人たちの相談に向き合ってきました。その中で何度も感じてきたことがあります。同じ会社で、同じ仕事をしていても、成長していく人もいれば、同じ悩みを繰り返してしまふ人もいます。その違いは、能力や経験だけではありません。

どんな仕事に就いたか以上に、どんな考え方をを選び、どんな姿勢で仕事に向き合い続けたか。その積み重ねがその人らしい人生を形づくっているように思うのです。

最近、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックのフリースタイルスキー金メダリスト、中国代表アイリーン・グー選手のインタビューを読みました。

競技の話以上に印象に残ったのは、彼女の「人は考えた通りの人間になる」という言葉です。彼女は日々、自分の思考と向き合い、より良い考え方を選んでいるそうです。

私は、その言葉に深く共感しました。相談の現場では、環境を変えることで前に進める方も

いれば、自分の考えや向き合い方を少し変えただけで、表情まで明るくなる方もいらっしゃると思います。

もちろん、働く環境は大切です。しかし、どのような環境であつても、自分の考えや働き方は自分自身と共にあります。出来事そのものよりも、それをどう受け止め次にどう行動するか。私は、その積み重ねが、人生を変えていく姿を何度も見てきました。

そんな私の考えを、もう一つ別の角度から支えてくれた方がいます。それは日本の作詞家でもありコラムニスト、エッセイストなど幅広く活躍されているジェーン・スーさんです。

ジェーン・スーさんは、仕事は「誰かの役に立つこと」だと語っています。その価値が認められるからこそ、お金という形で社会から対価が支払われる。私は、この順番がとても大切だと思いました。

私たちは、とすると、

「この仕事で何を得られるだろう?」

と考えがちです。もちろん、それも大切な事です。しかし、それ以上に、

「私は誰の役に立てるだろう?」

という問いを持って働く人は、不思議と周囲から応援され、信頼されます。

人は、自分の利益ばかりを考える人よりも、誰かの役に立つとうとする人に心を

動かされるからではないでしょうか。もし私が一緒に働く仲間を選ぶなら、そんな問いを持ち続ける人と仕事がしたいと思います。そして、採用する立場であつても、きっと同じ人を選ぶでしょう。

能力や経験は後から身につけることができます。しかし、「私は誰の役に立てるだろう」と考える姿勢は、その人の働き方を決め、やがて人生そのものを形づくっていくのだと思います。

私は相談員として、また研修講師として、多くの職場に関ってきました。組織を変えるのは、制度だけ、優秀な人材だけではありません。「私



は誰の役に立てるだろう」と考える人が一人いるだけで、職場の空気は少しずつ変わっていきます。一人のその前向きな姿勢は周囲にも伝わり、「自分も頑張ってみよう」という気持ちを生み出します。その変化に立ち会えることが、この仕事の喜びの一つでもあります。

私自身、アイリーン・グー選手のインタビューやジェーン・スーさんの著書・コラムに触れ、自分の仕事観を改めて見つめ直す機会を頂きました。もし、興味を持たれた方がいらっしゃれば、ぜひお二人の言葉にも触れてみて下さい。きっと、どんな仕事に就くか、だけでなく、どんな風に働くか、を考える、新たな視点を与えてくれるはずです。

私自身は、これからも「誰の役に立てるだろう」と問い続ける人と一緒に働きたいと思っています。そんな人たちと働く毎日は、きっと私自身も成長させてくれます。

仕事は、人生の一部ではありません。どんな風に働くか、どんな風に生きるかに繋がっています。だから私は、どんな仕事に就くか、以上に、どんな風に働くか、を大切にしていきたいと思っています。

① 分かれ道－働き方の選択－

どちらの問いを選ぶかが、未来をつくる。



考え方を選び、姿勢を決めることで、人生は大きく変わっていく。

② 誰かの役に立つ仕事をする職場

支え合い、学び合い、成長できる職場。



誰かの役に立ちたいという想いが、職場の雰囲気をつくり、未来を育てる。

一人ひとりの前向きな姿勢が、周りの人を動かし、チームを強くする。

プロフィール

おおしろ あさの
大城 朝野 氏



働き方、暮らし方、経営研究所「ハタワークス」。
組織開発・メンタルヘルスコンサルタント、社会保険労務士、産業カウンセラー。
25年以上にわたり、企業や行政で働く人と組織の支援に携わる。心理学や脳科学、キャリア開発、組織開発に加え、身体や暮らしを整える視点も取り入れながら、「働きがい」と「生きがい」を育む支援を実践している。
2025年 OKI LEADERS20 選出。
現在も、研修・講演・相談を通して、「働く人が自分らしく力を発揮できる職場づくり」をテーマに活動している。